

「やさしいハンドメイド」これまでの企画と今後の企画（予定）

（2021年5月号～2025年1月号）

※企画は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※「JA家の光手芸教室」とある回は、キットを販売しています。

在庫切れの場合もありますので、手芸教室で扱うさいは、かならずご確認ください。

また、キットの注文方法については変更になる場合があります。

注文、お問い合わせは普及企画部（電話：03-3266-9035 / E-mail:taikai@ienohikari.or.jp）
にご確認ください。

2025年1月号：【JA家の光手芸教室】「JA女性手帳カバー」（キット制作：清原株式会社）

制作時間の目安：約90分

2024年11月に発刊され、サイズが少し変更されるJA女性手帳。それに合わせたカバーを作るキット（950円（税込・予定））を紹介します。針と糸で縫うことなく、はさみと両面テープを使って作れるシンプルな構造に。季節や気分で付け替えられるカバーは、厚手の布を使い、しっかりと手帳をカバー。布は3種類から選べます。リボンのしおり付きで便利です。

2024年12月号：「巳の正月飾り」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約90分

2022年のウサギ、2023年の辰の正月飾りに続いて、2025年の干支の巳の飾りをフェルトで作る方法を紹介します。ウサギと辰の胴体を飾ったモチーフのイメージを踏襲し、巳をできるだけ愛らしく、縁起のいい紅白の色で仕立てました。単体で飾るのはもちろん、歴代の作品を並べて楽しむのも素敵です。飾ると部屋がとても華やかになり、気分も上がります。

2024年11月号：「端切れで作る 鍋つかみ」（作品制作：komihinata）

制作時間の目安：約90分

鍋料理がおいしい季節に、かわいい柄、カラフルな色の端切れを活かして作った鍋つかみを手作りしませんか。基本の鍋つかみの仕立てをマスターすれば、刺しゅうをデザインのポイントにしたものや、すべて端切れで作ったもの、一枚布で仕立てたものなど、さまざまなアレンジができます。端切れを活かせるのも魅力です。

2024年10月号：「フェルトで作る ハロウィーンのお化けのリース」

（作品制作：阪本あやこ）

制作時間の目安：約60分（接着剤を乾かす時間を除く）

フェルトに図案を写して切った、かわいらしいお化けをモチーフにしたリース。モールを円形につないだ土台のリースにフェルトのお化けを接着剤で貼り、飾りつけます。同じお化けの図案を使ったり、新たにネコやカボチャの図案をフェルトに写して作ったりするコースタ

ーも紹介。ハロウィーン気分を盛り上げるアイテムを工作気分楽しく作ってみましょう。

2024年9月号：「大好きな布と組み合わせて作る 米袋バッグ」

(作品制作：蔭山はるみ)

制作時間の目安：各 90～120 分

10年前に掲載して以来、一大ブームを巻き起こした米袋バッグ。丈夫で容量も多く、身近な素材でできる米袋は大人気！今回は綿100パーセントのお気に入りの布と米袋を組み合わせて作るエコタイプです。接着剤と両面テープのみで、針や糸も使わない作り方なので、準備も簡単。「シワ加工」作品を作れば、使用後の米袋もファッショナブルなバッグに変身します。手芸教室として制作時間を短縮したい場合は、底布、モチーフを張る工程を省くこともできます。

2024年8月号：「ポケットたっぷり カフェエプロン」

(作品制作：やまざきくにえ)

制作時間の目安：約 180 分

料理や家事をするときや、家庭菜園で収穫した野菜を一時的に入れられるポケットが付いた、前掛けエプロン。ポケットには底まちがあり、かさのある物も収納できます。底まちのあるポケットが付いたエプロンは、既製品ではなかなかないデザイン。並縫いとまつり縫いを中心に、手縫いで作れるシンプルな構造なので、手芸初心者にも挑戦しやすいアイテムです。

2024年7月号：「牛乳パックで作るペンケース」

(作品制作：やまざきくにえ)

制作時間の目安：約 90 分

牛乳パックで作るペンケースです。ペンや消しゴム、はさみなどの文房具がしっかり入る収納力がうれしいところ。ケースの内底と側面にはフェルトを使い、折りたたみやすい構造になり、収納時のクッション性もあって便利。牛乳パックの柄を生かしたデザインが個性적입니다。パックに布を貼ってアレンジするのもおすすめです。

2024年6月号：【JA家の光手芸教室】「オニヤンマのストラップ」

(作品制作：メルヘンアート、キット：日本ヴォーグ社)

制作時間の目安：約 40 分

アブやハチ、ハエにとって天敵であるオニヤンマ。アウトドアコードを組んで作るオニヤンマのストラップを帽子やバッグなどに付けるだけで、いや〜な虫が寄りづらくなります。10cm以上の大きさで、色味も本物のオニヤンマを模しています。身に着けるほか、家の軒先に吊るしたり、アウトドアのお供にしたり。薬剤などを使用しない自然の虫よけのため、小さな子どもがいても安心です。



2024年5月号：【JA家の光手芸教室】「モールで作る デイジーのリース」

(作品制作：やまざきくにえ、キット：株式会社 創&遊)

制作時間の目安：約60分

2022年4月号で紹介し、好評を得た「チューリップのリース」。2024年5月号では、「デイジーのリース」を紹介します。外側がふわふわとした素材で、中に針金が入ったモールを、鉛筆などにくるくると巻いて花びらを作り、茎用のモールに差し込んで作ります。オーガンジーのリボンが愛らしいワンポイントに。材料がすべて入ったキットの透明なパッケージは、完成した作品を入れて飾ったり、プレゼントしたりするときに再利用が可能です。



2024年4月号：「ネコとチョウチョのマグネット」(作品制作：長谷部真美子)

制作時間の目安(1点)：約90分～

※粘土を乾燥させる時間は含みません

100円ショップの樹脂粘土で作るネコとチョウチョのマグネットです。樹脂粘土で形成したあと、ネコはデザインペーパー(柄付き折り紙)や和紙、包装紙などの紙で、チョウチョは余り布で、それぞれ飾り付けをします。買い物メモなどを冷蔵庫に貼っておくのにぴったりで、冷蔵庫まわりをかわいらしく演出してくれます。



2024年3月号：【JA家の光手芸教室】「スマホストラップ」

(作品制作：メルヘンアート、キット：日本ヴォーグ社)

制作時間の目安(四つ編みの場合)：約120分

ポケットがない服を着ているとき、スマホの持ち運びに困った経験はありませんか。そんなモヤモヤを解決してくれるのがスマホストラップです。手持ちのスマホケースにスマホホルダーシートを通し、そこに四つ編みして作るストラップをかけて使用します。肩にかけて持ち歩けるので、落下や盗難の防止にも効果的。ブルー、イエロー、ピンクの3色から選べます。



2024年2月号：「かぎ針編みで作る ふわふわブローチ」(作品制作：くげなつみ)

制作時間の目安：約90分

寒い冬のおしゃれにぴったりな、ふわふわとしたブローチです。かぎ針で毛糸を編んで作ります。編み方は、鎖編みと引き抜き編みだけ。アレンジで大きめのビーズを編み込めば、また違った印象になります。ブローチ部分をイヤリングパーツに変えて、大ぶりのイヤリングにすることもできます。



2024年1月号：「ナンテンとウメの箸袋」（作品制作：菊地七夢）

制作時間の目安（箸袋）：約10分

制作時間の目安（南天、梅）：それぞれ約40分

南天と梅の花をモチーフにした、おめでたい席にぴったりな箸袋です。箸袋は折り紙で、南天と梅の飾りは、細く切った画用紙をつまようじでクルクルと巻いて作ります。華やかな飾りなので、いろいろなアレンジを楽しめるのもうれしいところ。ポチ袋やメッセージカードなどに貼るのもお勧めです。



2023年12月号：「辰の正月飾り」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約90分

干支の正月飾りシリーズとして、2024年の干支である「辰の正月飾り」の作り方を紹介します。「ウサギの正月飾り」同様、実物大型紙付きで、フェルトや刺しゅう糸などの手に入りやすい材料で作ることができます。ふっくらとしたフォルムと、かわいらしい表情に癒されます。縁起のよい辰とっしょに、新年を迎えましょう。



2023年11月号：「ニットをリメイクして作る ニット帽&アームウォーマー」（作品制作：田中美貴）

制作時間の目安（ニット帽）：約90分

制作時間の目安（アームウォーマー）：約30分

着なくなったニットをリメイクして、ニット帽とアームウォーマーを作ってみませんか。ニット帽は前身ごろと後ろ身ごろを、アームウォーマーは袖をそのまま使用して作ることができます。手縫いならではのやわらかな仕上がりで、肌触りもばっちり。初心者でも挑戦しやすい難易度です。



2023年10月号：「ハロウィーンを楽しむ お菓子飾り」（作品制作：阪本あやこ）

制作時間の目安（キャンディカバー）：約10分

制作時間の目安（カボチャのお化けの手提げ）：約30分

制作時間の目安（フェルトのチャーム）：約20分

ハロウィーンのに季節に活躍することまちがいなしのお菓子飾りのアイデアを紹介します。折り紙で作るキャンディーカバーは、カボチャのお化け、黒ネコ、コウモリの計3種の作り方を掲載。個包装のお菓子を持ち運べるカボチャのお化けの手提げと、ラッピングのワンポイントにぴったりなフェルトのチャームとあわせて、ハロウィーンをさらに楽しみましょう。



2023年9月号：「Tシャツヤーンで作る マット／ヘアバンド」（作品制作：蔭山はるみ）

制作時間の目安（マット）：約6時間

制作時間の目安（ヘアバンド）：約30分

（制作時間については、試作後変更する可能性があります）
Tシャツヤーンとは、Tシャツを細かく切って作る編み糸のこと。捨てるのはもったいないけれど、古くなったり、サイズが合わなくなったりしてタンスに眠っているTシャツを再利用することができます。今回は、Tシャツヤーンの作り方と、Tシャツヤーンを使って制作する作品を2点紹介します。



2023年8月号：「糸かけアート」（作品制作：蔭山はるみ）

制作時間の目安：約30分

円型に切った厚紙に切り込みを入れ、規則的に糸をかけていくと、まるでレース編みのように繊細な模様が浮かび上がります。指先を使い、数を数えて糸をかける作業は、脳トレにも。糸の色を変えたり、カラフルな厚紙を使用したり、アレンジのバリエーションもさまざまです。完成した作品は、壁掛けインテリアやコースターとして活用できます。



2023年7月号：【JA家の光手芸教室】「ビーズで作る 手まりストラップ」（キット制作：トーヨー株式会社）

制作時間の目安：約60分～

テグスに通したビーズで大きなビーズを編み込んで作る、手まりのようにコロんとしたストラップです。ストラップがゆれるたびに、心地のよい鈴の音が響きます。光に反射する「ピカッビーズ」を使用しているため、暗い夜道の交通安全にも活躍します。ピンク、水色、紫色の3色から選べます。



2023年6月号：「手縫いで作る スマホクッション」（作品制作：杉野未央子）

制作時間の目安：約60分

スマホで動画を観るとき、ずっと手で持っているのは疲れるし、かといって机にそのまま置くと画面が見えづらい。そんなちょっとしたモヤモヤを解決してくれるのがスマホクッションです。充電中のスマホ置き場にもぴったり。布と手芸綿を使って、手縫いで作ることができます。リボンやタッセルを付けたり、ボタンやビーズを縫ってみたり、いろいろなアレンジを楽しめます。



2023年5月号：【JA家の光手芸教室】「エコアンダリヤの帽子」

（作品制作：寺西恵里子 キット制作：ハマナカ株式会社）

制作時間の目安：約6時間

エコアンダリヤを使って、ナチュラルな風合いの帽子を作ってみませんか。エコアンダリヤは木材パルプから生まれた天然素材で、土に戻る環境にやさしい手芸糸。サラサラの手触りで、すべりもよく、編みやすい仕立てです。UVカット効果もあるので、これからの季節に活躍すること間違いなし。編み棒を使い、セット販売の型に編み込みながら制作します。



2023年4月号：「巻くだけ簡単！ 肩たたき棒」（協力：JA大阪泉州）

制作時間の目安：約30分

チラシで作る肩たたき棒は、凝り固まった肩をたたくのにちょうどよい硬さです。チラシを細長くくるくる巻いたものを30本ほど作り、それを束にしてテープで留めるだけなので、だれでも簡単に作ることができます。作り方はもちろん、女性会で作り、JAに来る人たちに渡すなどして活用しているJA大阪泉州阪南支部女性会の事例を紹介します。



2023年3月号：「余り布で作る 春色リース」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約100分

捨てるのはもったいない端切れを使って、華やかなリースを作りませんか。段ボールで土台を作り、目打ちで穴をあけて、クローバーのような形にカットした布をピンセットで差し込めばできあがり。布の色使いによって雰囲気が変わります。同系色もすてきですし、カラフルにすればかわいらしい仕上がりに。また、木綿布、レース、サテン、キルティングなど、質感の異なる布を組み合わせるのもお勧めです。



2023年2月号：「小物ストッカー」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約60分

木綿布と牛乳パックで作る小物入れストッカーです。レジ袋やゴム手袋、チャック付きポリ袋などの収納場所に困りがちな物を、すっきりと整理整頓できます。布巾を入れてリビングに置くのもよいですし、ペットの散歩用のゴミ袋を入れて玄関に置いても便利です。フックなどに引っかけられるようになっているため、場所を選ばず、生活のあらゆる場面で役立ちます。



2023年1月号：【JA家の光手芸教室】「ネコのボンボンストラップ」

（作品制作：寺西恵里子 キット制作：ハマナカ株式会社）

制作時間の目安：約30分

ふわふわとした手触りと愛らしい見た目が特徴のネコのボンボンストラップは、作り方もとても簡単です。ボンボンメーカーにアクレヌ（毛糸）を巻き、はさみでカットして形を整えればOK。顔の模様はフェルトシールです。制作時間も短いため、身の回りのお子さんと作るのにもぴったりです。キットのネコは、グレー、茶色、白の3種類から選ぶことができます。



2022年12月号：「ウサギの正月飾り」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約90分

2023年は^{うさぎ}卯年。手作りのウサギの置き物で、新年を華やかに迎えませんか。実物大型紙付きで、フェルトや刺しゅう糸など手に入りやすい材料だけで作ることができます。綿を詰めるほど、ぽってりとしたフォルムになりますよ。白や赤、ピンクなど、好みの色で作ってみましょう。玄関のほか、家族が集まるリビングや寝室に置くのもお勧めです。



2022年11月号：「刺し子風 たい焼き柄の鍋つかみ」（作品制作：木村倫子）

制作時間の目安：約100分

刺し子風のたい焼き柄が目を引く鍋つかみです。手のひらほどの大きさで、余り布と古タオルを使います。柄はランニングステッチで縫うので、初心者でも気軽に作ることができるのがポイント。アクセントとして付ける飾り布によって、雰囲気がぐっと変わります。ひと針ずつゆっくり手を動かして、心が和む手縫いの時間を楽しんでください。



2022年10月号：「ブドウのアクセサリ」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約90分

フェルトで作るブドウのアクセサリは、もこもことした質感で、温かな仕上がりです。細長い二等辺三角形型にカットしたフェルトを、ピンセットと指でくるくる巻いてブドウの実を作ります。実と葉ともに実物大型紙付きで、家にある材料で簡単に作ることができます。ブローチやペンダントとして身に着けてもかわいらしく、またフレームなどに飾ればインテリアとして楽しむことができますので、秋の装いにもぴったりです。



2022年9月号：「みつろうラップ」（作品制作協力・キット制作：清原株式会社）

制作時間の目安：約30分

ハチの巣から精製したみつろうで木綿布をコーティングしたみつろうラップ。布の柄を生かしたかわいらしい見た目と、繰り返し使えるというエコの観点から、注目が集まっているアイテムです。食べ物を入れた容器にふたをして保存できるのはもちろん、野菜や果物を包んでお裾分けしたりするときに使えば華やかな印象になります。



2022年8月号：「つり下げられる プランターカバー」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約60分

円形の合皮のはぎれに複数の切り込みを入れ、その周囲にひもを通してつり下げると、大きな編み目模様のプランターカバーができます。実物大型紙付きなので、切り込み線を布に写す作業がしやすいのもポイント。また、ひもの結び方も学べます。いくつか作って観葉植物を入れて並べたり、つり下げて収納しておくとな便利な小物を入れたりするなど、使い方もいろいろ選べます。工作感覚で作れるので、手芸が苦手な方でも気軽に立体物に挑戦できます。平面の状態から、物を入れてつり下げたときの作品の変貌ぶりをお楽しみください。



2022年7月号：「マスキングテープで作る 編み目のコースター」（作品制作：宇田川一美）

制作時間の目安：約40分

マスキングテープを貼った紙を二つ折りにして糸に見立て、それを“縦糸”と“横糸”にして交互に編み込み、コースターを作ります。色や柄が豊富にあり、100円ショップでも手軽に購入できるマスキングテープが主な材料であること、まっすぐに並べた縦糸に、横糸を交互に通していくという単純な編み込み作業でできることが、この作品のポイントです。形や大きさを自由に変えられるので、応用の幅も広がります。



2022年6月号：「マスクケース」（作品制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約100分

予備のマスクやポケットティッシュ、除菌シートなどを収納できる、携帯用の布製のマスクケースです。ふたを開けると3つのポケットがあり、横長の形なので、お薬手帳や通帳などの収納にもぴったりの大きさです。本体とポケットになる2種類の布をずらしながら折り重ね、両脇を縫って仕立てるなど、縫う部分が最小限になるように工夫した作品です。本体を柄布で、内側のポケットを無地で作り、布選びも楽しんでください。



2022年5月号：「牛乳パックで作る 引き出しボックス」（作品制作：宇田川一美）

制作時間の目安：約60分

切った段ボールを組み合わせて棚を作り、そこに、牛乳パックの底の部分の部分を切って作った引き出しを入れたボックスです。段ボールの棚は、白い布ガムテープを貼って加工し、牛乳パックの引き出しには、きれいな柄の包装紙を帯状に切って貼ります。引き出しの取っ手部分には、大きめのビーズを取り付けるなど、身近な材料で作れるのがポイントです。いくつかまとめて作って、並べて使うと、かわいいインテリア小物になります。



2022年4月号：【JA家の光手芸教室】「モールで作る チューリップのリース」

（作品制作：やまざきくにえ キット：株式会社 創&遊）

制作時間の目安：約60分

手芸や工作などで使う、外側がふわふわとした素材で、中に針金が入ったモールを曲げて、チューリップのリースを作ります。さわり心地がよく、感覚的に手を動かせば形になる作品なので、手芸の初心者も安心して取り組みます。材料がすべて入ったキットの透明なパッケージは、完成した作品を入れて飾ったり、プレゼントしたりするときにも再利用できます。



2022年3月号：「古ジーンズで作るミニバッグ」（制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約100分

はかなくなったジーンズの脚の部分の布地を利用して、ミニバッグを作ります。口の部分には、ハトメ金具を取り付け、そこにひもを通して、口が閉じられるバッグに仕上がります。縦長の形は、水筒やペットボトルが入れやすく、散歩のお供としてお勧めです。



2022年2月号：「くるみボタンのストラップ」（制作：木村倫子）

制作時間の目安：約60分

使わなくなったコートなどの大きめのボタンをはぎれでくるんで、くるみボタンを作り、それを組み合わせてストラップを作ります。バッグや傘の持ち手などに付けて目印にするのはもちろん、ストラップのひもをゴムにすることで、文庫本やノートなどに巻いて使える、便利アイテムになります。



2022年1月号：「招き猫の壁掛け」（制作：やまざきくにえ）

制作時間の目安：約100分

ダンボールに布を貼った土台に、不要なハガキに布を貼って作った招き猫を縫い付けて、新年から飾れる壁掛けを作ります。縁起ものなので、一年中飾っていてもOK。招き猫の型紙付きです。



2021年12月号：「粘土で作るバラのブローチ」（制作：長谷部真美子）

制作時間の目安：約60分

100円ショップで購入できる粘土でバラの花やつぼみ、葉を作り、ブローチピンをつけて、ブローチを作ります。セーターやバッグなどに付けて、ファッションのワンポイントとして楽しめます。



2021年11月号：「ハンドメイド大賞 優秀賞受賞作品」

制作時間の目安：約40分

『家の光』創刊95周年記念企画「暮らしのハンドメイド大賞」で、優秀賞を受賞した作品の作り方をご紹介します。



2021年10月号：「ハンドメイド大賞 大賞受賞作品」

制作時間の目安：6～8時間

『家の光』創刊95周年記念企画「暮らしのハンドメイド大賞」で、大賞を受賞した作品の作り方をご紹介します。



2021年9月号：「野菜を入れて保存もできる新聞紙エコバッグ」（制作：蔭山はるみ）

制作時間の目安：約40分

家にある新聞紙を再利用した、野菜や果物を収納できるまち付きのエコバッグ。買い物にも保存にも使えて、おすそ分けをする際にも便利です。好みの新聞紙を選んで作りましょう。



2021年8月号：「デコパージュの小物入れ」（制作：寺西恵里子）

制作時間の目安：ストライプ柄 約60分／デニム柄 約40分

牛乳パックに切り込みや折り目をつけて本体を組み立て、カットした古着を貼って仕上げます。切った紙や布を小物に貼る「デコパージュ」の手法で、牛乳パックが便利な小物入れに生まれ変わります。牛乳パックと古着を使って作るので、地球にも優しいです。



2021年7月号：「グラスサンドアート」（制作：石井静佳）

制作時間の目安：約60分

色付きの砂「カラーサンド」をガラスの中に重ねる「グラスサンドアート」。砂の重ね方をマスターすれば、ストライプや波型などさまざまな模様ができます。今回はジャムの容器の中に砂を重ね、好みの造花や小物を飾ります。



2021年6月号：「ドライフラワーフレーム」（制作：篠原由子）

制作時間の目安：約40分

シリカゲル（乾燥剤）を使って、手軽にドライフラワーを作ることができます。この手法を利用して、写真立てをオリジナルのドライフラワーで装飾し、フラワーフレームを作ります。自宅のちょっとしたスペースを華やかに彩ることができ、友人へのプレゼントにもぴったりです。写真立てのほか、空き箱などを使ったアレンジ方法も併せて紹介します。



2021年5月号：【JA家の光手芸教室】「UVパール3WAYネックレス」

（制作：トーホー株式会社）

制作時間の目安：約40分

紫外線にふれるとピンク色になるUVパールビーズを使ったアクセサリーです。徳島県の天然すくも藍を使用したすくも藍ビーズがデザインのアクセント。シンプルなネックレスだけでなく、眼鏡ホルダーやマスクホルダーにもなる3ウェイ仕様です。

